

2021年4月吉日

取引先各位

株式会社カネカメディックス

膜型血漿分離器「サルフラックス FP」の血漿側ポート栓開栓時のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年より、血漿側ポート形状を変更したサルフラックス FP FP-D シリーズを販売しておりますが、製造元の旭化成メディカル株式会社より、血漿側ポートの開栓時に血漿ポート用栓が破断し、破断した栓の一部が製品の血漿側ポート側へ残留する事案が発生しているとの報告を受けました。本件に関しては、旭化成メディカル株式会社より別紙「膜型血漿分離器 サルフラックス FP FP-D シリーズ 血漿側ポート栓開栓時のお願い」の案内が来ております。大変お手数をおかけいたしますが、別紙をご参照のうえ、ご使用いただきますようお願い申し上げます。

今後とも引き続き弊社製品をご愛顧戴きますよう、宜しく願い申し上げます。

敬 具

記

1. 対象製品：サルフラックス FP FP-D シリーズ
2. 対象製品のカタログ番号：FP-02D、FP-05D、FP-08D
3. ご使用上のお願い：詳細は別紙参照

上記につきましてご不明な点がございましたら、弊社営業担当までお問合せいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

以上

別紙

2021年3月

お客様各位

旭化成メディカル株式会社 血液浄化事業部

膜型血漿分離器 サルフラックス FP FP-D シリーズ
血漿側ポート栓開栓時のお願い

謹啓

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年より、より安全にお使いいただけますよう FP-W シリーズの血漿側ポート（以下 D ポート）形状を変更した製品 FP-D シリーズを販売させていただいておりますが、血漿側ポートの開栓時に血漿側ポート用栓（以下 D 栓）が破断し、破断した栓の一部が D ポート側に残留するということがございました。

FP-D シリーズは D ポート形状変更により D 栓内部形状も変更（ルアーロック）となりました（図 1）。施栓は D ポートのねじ山に D 栓のねじ山をねじ込むことによって行われます（図 2）。

未使用製品を開栓する場合、反時計回りに D 栓を回転させれば開栓します。しかし、これとは逆に増締め方向（時計回り）に D 栓を締めた場合、D 栓のねじ部が内部に押込まれます。この押込みの程度によってはねじ部の根元部分に過度のストレスがかかり、破断する可能性がございます（図 2 の赤丸で囲んだ部分）。

お客様におかれましては、大変お手数ではございますが、FP-D シリーズの D ポート開栓時は D 栓を増締め方向（時計回り）に回転させないように、お願いいたします（図 3）。

今後とも FP-D シリーズにつきましても引き続きのご愛顧を賜りますよう、何卒よろしく願いいたします。

謹白

旭化成メディカル株式会社 血液浄化事業部
〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1 丁目 1 番 2 号
日比谷三井タワー
Tel.03-6699-3777 Fax.03-6699-3773

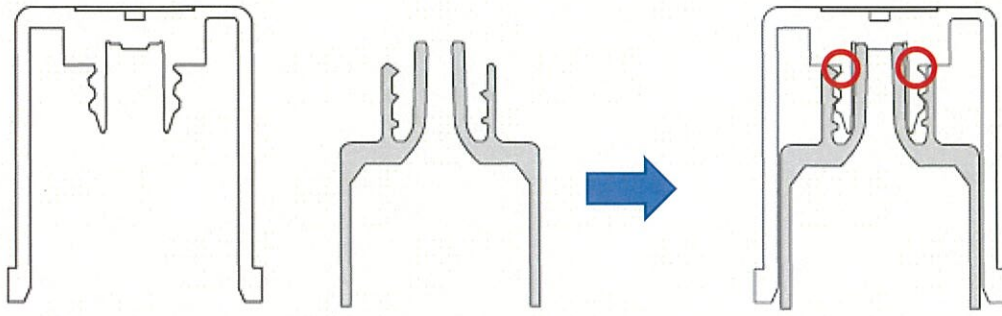


図1 D栓とDポート（断面）

図2 D栓をDポートに
施栓した状態（断面）



図3 FP-D 開栓時の方向
(反時計回りに回してください)